

平成 29 年度 第 2 回昭島市環境審議会  
会議録（要旨）

【開催日時】 平成 30 年 3 月 15 日（水） 18：30～20：00

【開催場所】 昭島市役所 3 階庁議室

【出席者】

- 1 委員：椎名会長、長瀬副会長、安部委員、尾崎委員、小野沢委員、桐谷委員、倉水委員、田中(利)委員、福永委員
- 2 事務局：池谷環境部長、吉野環境課長、小林係長（計画推進係）、齋藤係長（環境保全係）、小沢係長（水と緑の係）、流石主事

【欠席者】

委員：亀卦川委員、田中(近)委員、降旗委員

【議事要旨】

- 1 開会
- 2 議題  
昭島市の水施策について 【資料 1】
- 3 報告  
(1) エコプロ 2017 の出展について 【資料 2】  
(2) 第 10 回あきしま環境緑花フェスティバルの開催について 【資料 3】  
(3) 平成 29 年度 市内クリーン運動実績 【資料 4】  
(4) 平成 29 年度 あきしま喫煙マナーアップキャンペーン実績 【資料 5】  
(5) 平成 28 年度及び平成 29 年度 苦情件数について 【資料 6】  
(6) 平成 29 年度 犬のしつけ方教室実績 【資料 7】  
(7) 平成 29 年度 花の応援事業（花苗配布）について 【資料 8】  
(8) 平成 29 年度 奥多摩・昭島市民の森事業について 【資料 9】  
(9) 平成 30 年度 主な環境課の事業一覧（予定） 【資料 10】
- 4 その他
- 5 閉会

【配付資料】

- 資料 1 昭島市の水施策について（平成 28 年度実績）
- 資料 2 エコプロ 2017 の出展について
- 資料 3 第 10 回あきしま環境緑花フェスティバルの開催について
- 資料 4 平成 29 年度市内クリーン運動実施報告書
- 資料 5 平成 29 年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーン実施報告書
- 資料 6-① 平成 28 年度苦情件数
- 資料 6-② 平成 29 年度苦情件数（平成 30 年 1 月末現在）
- 資料 7 平成 29 年度犬のしつけ方教室実績報告
- 資料 8 平成 29 年度花の応援事業（花苗配布）について

資料9 平成29年度奥多摩・昭島市民の森事業について

資料10 平成30年度 主な環境課の事業一覧（予定）

## [発言要旨]

### 1 開会

事務局職員の異動について（新任の小林係長よりあいさつ）

### 2 議題

昭島市の水施策について

#### 【事務局による説明（要旨）】

（資料1、小林係長による説明）

28年度の水施策の実績について、分野別に特徴的な施策の説明を行った。

- ・地下水 「昭島市民の森事業、岩泉・昭島友情の森活動」
- ・雨 水 「雨水貯留槽設置助成」
- ・湧 水 「湧水量調査」「湧水水質検査」
- ・連 携 「昭島市の水ブランド事業」

- 椎名会長 雨水貯留槽の助成が前年度の16基から23基に増加した理由は、  
齋藤係長 台風が多い年だったことが一因と考えている。  
吉野課長 他にも、大規模な宅地開発があり、不動産業者による補助金のPRがあったものと思われる。最近では住宅業界でも、太陽光発電やHEMSなどの環境配慮設備の導入に積極的である。
- 桐谷委員 雨水貯留槽の予算措置に上限はあるのか。  
吉野課長 28年度は、予算を超える申請があったため、同予算内の地下浸透柵設置補助から予算流用した。
- 桐谷委員 これからも補助件数が増えるように、予算不足が起こらないよう調整に努めていただきたい。
- 椎名会長 雨水貯留槽の補助率は。  
齋藤係長 購入金額の3分の2の額で、上限が3万5千円となっている。  
椎名会長 地下水を利用するまちとしては、雨水貯留槽や浸透柵で水の循環を促していくことが大切だろう。
- 小野沢委員 湧水量調査結果について、昭島の地下水は安定しているとみていいのか。  
吉野課長 深層地下水を利用しているため地下水位に影響はない。ただ、調査自体が湧水（湧き水）のため、直近の雨の量に左右されてしまう面はある。
- 小野沢委員 以前、諏訪神社の湧き水が出なくなったことがあったが、そうした事態はその後も起こっているのか。  
吉野課長 諏訪神社に関しては、数年に一度枯渇する場合がある。これも降雨量に左右されるものであり、その後雨が降ると再び水が湧くようになる。
- 桐谷委員 宅地化等により、舗装化や緑地の減少が進むと水の浸透が阻害されるので、湧水の減少理由を幅広く探ることも大切だろう。
- 吉野課長 舗装化によって雨水が用水路に流れ込み、冠水するような場合はあるので、そうした問題については対策を検討していきたい。

椎名会長 近年、降水量が激甚化している影響もあるだろう。同じ年間降水量であっても、一度に大量の雨が降る場合が少なくない。

長瀬副会長 ところで、自宅の前が側溝になっているが、雨が降るとあふれてしまうことがある。

吉野課長 以前は側溝に直接流れ込むところが多くあったが、近年では雨水管の整備により、側溝が途中で途切れてしまっているためだと思われる。

椎名会長 原因は分流式だからであろう。合流式ならその問題は起こらない。分流式は地下への水還元をねらったものだが、浸透枿などにごみや汁が詰まることにより、水があふれるといった弊害がある。加えて降水の激甚化が、それらをさらに悪化させている。何らかの対策は必要だろう。都内の市町村はほとんどが合流式を選択しているため、昭島市は独自に研究をしていかなければならないかもしれない。

長瀬副会長 こうした問題に対する、市民とのコミュニケーションの場はあるのか。

吉野課長 広報には「市長への手紙」、ホームページには「市民の声」と、それぞれ、直接意見を投稿できる仕組みを用意しており、匿名でない限り、基本的には返答している。

椎名会長 苦情・相談等は同じ所で起こりやすいので、時期ごとに問題発生個所の傾向を把握することも必要だろう。

### 3 報告

#### 【事務局による説明（要旨）】

(資料2、3、及び10 小林係長による説明)

(資料4、5、6、7 齋藤係長による説明)

(資料7、8 小沢係長による説明)

各係長から担当事業の実績報告等を行い、併せて平成30年度の事業実施予定を説明した。

椎名会長 以上の説明でご質問・ご意見は。

安部委員 苦情件数の「ばい煙」とは具体的にどういうものか。  
また、30年度新規事業の「ウッドチップ配布事業」は、個人向けか、学校などの団体向けか、どちらかになるのか。

齋藤係長 ばい煙については、ほとんどが野焼きによるものである。畑から以外にも、工場内で職人がドラム缶で暖をとるケースもある。

吉野課長 ウッドチップについては、これから機械を購入する段階であるが、制度としては個人を対象に考えている。宅内で切った木などをチップ化し再利用してもらうことで、可燃ごみを減らすのがねらいである。

安部委員 木を持ち込まない第三者には配布してもらえないのか。

吉野課長 作ったチップを緑花フェスティバル等で配るなどは考えているが、第三者への配布は検討段階である。大型の機械を購入できれば、処理できるチップが増え配布可能になるかも知れない。

椎名会長 同様の事業は他市で行っているか。また、木をどのように収集するのか。

吉野課長 他市での実績はない。基本的には連絡を受けての個別対応になるが、収集にするか持ち込みにするかはこれから詰めていく。なお、機械から騒音が出る

- ため、実施場所はごみ関連の出先機関になる予定である。
- 福永委員 チップを廃棄する場合は可燃ごみ、資源ごみどちらになるのか。
- 吉野課長 それについても検討課題としたい。
- 椎名会長 ウッドチップは庭に敷くと大雨で道路に流れ出し、水路等が詰まる原因となるので注意が必要である。まずはやってみて、その後の様子で対策を検討されるのがよいだろう。
- 桐谷委員 自宅でウッドチップを使っているが、機械が割と高価なので、施策としての需要はあると思う。
- 椎名会長 先進的な施策なのは間違いない。ごみ減量につながる施策であるから、減らせる分のごみ処理費を設備投資に回すくらいの気持ちが必要だ。予算を減らして、ごみ減量そのものが縮小してしまうことは避けたいところである。他にご意見は。
- 福永委員 苦情件数の「騒音」はどういったものか。
- 吉野課長 29年度については、指定作業所からが1件、一般住宅からが4件。いわゆる生活音の苦情が多いが、スナック等のカラオケ騒音によるものもある。
- 福永委員 同じ苦情で「動物・害虫」はどういうものか。
- 吉野課長 ペットのふんによるものが多い。犬はもちろんだが、外飼いの猫によるものも増えている。
- 小野沢委員 苦情で一番多いのは「土地管理」になっているが、これは空き家によるものなのか。市ではどのように対処しているのか。
- 齋藤係長 ほとんどが空き家であるが、市では登記簿謄本を調べて所有者に対処依頼を出している。
- 椎名委員 空き家による被害とはどういうものか。
- 齋藤係長 庭の枝が伸びて越境しているもののほか、通行人のごみ・吸い殻のポイ捨てや子どもの遊び場化による火災のおそれなどがある。
- 吉野課長 案件ごとに所有者にお願いはしているが、草刈りの条例は昭島市にはなく、また所有者が遠方の場合は対処が望めないケースが多いのも事実である。特定空き家の関係で法律的には代執行処分が可能になったものの、費用回収が困難なことから現実的には難しい。
- 椎名会長 緊急を要する場合（倒壊のおそれ）などを除いては難しいだろう。核家族化が進む中、空き家問題は今後の大きな課題のひとつとなるのは間違いない。解決策としては、「住みたくなるまち」を実現し、若い世代を中心に、住民を増やすことが第一だ。その他に意見は。
- 長瀬副会長 環境緑花フェスティバルで予定している「環境クイズ」とは何か。
- 吉野課長 イベント来場者に環境にちなんだクイズラリーに参加していただき、参加者にノベルティ（エコグッズ）を配布する。今回は新たに東京都環境公社からもキャラクターグッズなどのノベルティ提供を見込んでいる。
- 長瀬副会長 「市内クリーン運動」でも啓発品の配布があるのか。
- 吉野課長 ポケットティッシュ、携帯灰皿などを配布している。

#### 4 その他

- 椎名会長 その他、全体を通して何か意見は。
- 尾崎委員 普段から感じているが市役所の周りが暗い。特に、隣にあるスーパーが時間で閉店すると、女性や子どもからすると暗くて怖さを感じる。コンビニなどがないとまちが暗く感じるので、市役所の周りを明るくすることはできないだろうか。
- 吉野課長 市役所北の都市計画道路が整備されればまた変わってくると思うが、本庁舎隣のコンビニが閉店したため暗く感じるのはあるかも知れない。
- 椎名会長 街路灯のLED化はされているのか。
- 吉野課長 器具が高価なため、それほどは進んでいない。
- 椎名会長 LEDには照らす方向性（指向性）があるため、明るい島のようなスポットを断続的に配置するのがよい。
- ところで、「明るさ」を環境の問題とするかどうかは議論があるかも知れないが、もしかするとこれは環境の大きな要素であるかも知れない。
- 長瀬副会長 この問題については、縦割り行政でものを考えるべきではない。（道路管理・環境対策を問わず）横断的に進めなければ、こうした市民の意見が通らない。元気のまち・あきしまには明るさも大事だ。
- 椎名会長 若い世代が引っ越してくる場合、まちの明るさも大事な要素になるだろう。昭島市は、明るさも環境の命題の一つとして捉えている、という姿勢は必要なのではないか。
- 池谷部長 防犯・防災対策も考慮する中で、最近、庁舎前に自立型ソーラースタンドを設置したところだが、市役所の照明については難しいものがある。税金を使っている以上、明るすぎるとそれはそれで苦情になってしまう。基本的には、使用しない時間は消灯するという運用をしているが、防犯上のこともあるため暗くしすぎないバランスを保つのに苦慮している。
- 長瀬副会長 役所の意見も一理あるが、市民が生活している時間帯には配慮していただきたい。一晩中明るくする必要はないのだから、消灯する時間を広く認知させればよいのではないだろうか。
- 池谷部長 人感式の照明が設置できれば一番よいが、本件については庁舎管理及び道路管理の部門に報告させていただく。
- 椎名会長 これからのまちづくりは、全体的に一定の照度を保つのではなく、まちの中で明るくするところ、暗くてよいところを区別して整備していくことも研究課題としてよいだろう。他に何かあるか。
- 倉水委員 今回は水生生物に関する話題がなかったので、次回はぜひ盛り込んでほしい。前回の審議会で申し上げたが、子どもに対する環境教育という観点から非常に有効なものであると考えている。用水や湧水の話と絡めて、環境との共生をテーマに研究していただけたらと思っている。
- 吉野課長 市では、市民を対象とした環境学習講座を行っているほか、生物多様性戦略についても取り組んでいる。それらについては今後も継続していく。

#### 6 閉会

その他、特に意見がないため閉会する。